公益財団法人盛岡観光コンベンション協会

事業運営計画書

(令和7年度~令和11年度)

1 計画策定の趣旨

公益財団法人盛岡観光コンベンション協会は、観光振興と交流人口の拡大による地域経済の活性化と文化の向上を目的に掲げ、各種事業を通じた取り組みを進めています。令和2年から5カ年に亘った前事業運営計画におきましては、コロナ禍を契機とした新しい生活様式や働き方の変化に対応しながら様々な課題と向き合い、新たな事業展開への模索を続けてきたところです。

今後におきまして、これまで停滞を余儀なくされた観光経済の復活と躍進、さらには持続可能な社会の実現に向けて、自主性と協調性を持った戦略がこれまで以上に求められることとなります。前計画での達成状況をもとに現状を分析し、課題を抽出した上で問題解決に取り組むとともに、目的達成に向けた財団としての基本運営の方向性を示すため、ここに新たな計画を策定するものです。

2 計画期間

令和7年度~令和11年度までの5年間

3 前事業運営計画の総括評価

計画策定時の令和2年度当初より新型コロナウイルス感染症の影響が当地にも及び、観光を取り巻く状況は大きく変化を重ねました。増加傾向にあった観光客もインバウンド客を中心に激減し、祭りイベント等の中止も各地で相次いだことによって観光需要は低迷、観光を目的とした人の流れは影を潜めました。

こうした状況は計画執行におきましても大きな損失となり、達成目標として掲げた数値には渦中では到底及ばず低迷を続けました。感染状況に回復傾向がみられた令和4年度以降に多少の持ち直しをみせ、旅行需要が戻り始めた令和5(2023)年には、アメリカの新聞紙ニューヨーク・タイムズの「2023年に行くべき52ヵ所」の中で盛岡が世界で2番目に紹介されたことを契機に、アジア地域や富裕層のみならず欧米からの観光客が急増する効果もみられました。この現象は観光関連業界への活気を呼び覚まし日常への復活の兆しを予感させるとともに、地方都市ならではの観光資源が世界から脚光を浴びたことによって、新たな取り組みへのテーマが提示されたものとも受け止められました。

総じて計画期間の中で評価に値するだけの十分な実績値は得られませんでしたが、パンデミックがもたらした不測の事態の中、新しい時代の観光のあり方を模索する過程におきまして、事業年度の期中における判断、変更、実施を短期スパンで繰り返すといった状況に応じた臨機応変な事業への取り組みなど、次を見据えた意識の変革が生まれたことによって、数値には現れない成果が得られたものと分析し、今後の計画目標とその達成に反映させていくこととします。

(1)重点施策 【まちなか観光の推進/MICE 誘致の推進/国際観光の推進/賛助会員拡大等】

	指標	参考値 (R1)	R2	R3	R4	R5	目標値 (R6)
1	年間観光客入込数 (万人回)	519. 1	323. 6	359. 5	369. 7	430	530
2	年間宿泊観光客数 (万人泊)	107	65. 6	68	91. 4	107. 3	115
3	年間外国人観光客入込数(万人)	6. 6	1.1	0. 4	0.7	6. 5	15
4	M I C E 経済波及効果 (百万円)	667	69	165	763	278	860
5	賛助会員数 (会員)	337	322	314	308	305	400

(2)観光振興に関する事業【公益目的事業1】

※令和6年度は2月末時点の速報・確定値

指標	参考値 (R1)	目標値 (R6)	R2	R3	R4	R5	R6
1 新聞広告等掲載回数(回)	5	10	2	0	1	2	1
2 ホームページ訪問 回数(回)	158, 774	212, 000	111, 795	88, 051	105, 379	201, 049	148, 491
3 ふるさとガイド案 内客数(人)	2, 107	2, 500	334	344	498	1, 739	1, 569
4 岩山展望デッキ利 用者数(人)	43, 325	45, 000	42, 483	29, 582	25, 701	27, 763	27, 595
5 国内外観光客及び 教育旅行誘致活動 回数(回)	3	5	1	3	6	6	11
6 まつり行事等支援・助成数(件)	13	13	2	8	14	15	15
7 さんさ団体派遣回数(回)	26	30	162	180	255	256	236
8 盛岡山車参加者数 (人)	652	700	中止	中止	中止	284	447
9 F C ロケ全支援数 (件)	61	70	50	33	33	38	29
10 F Cロケ支援数 / うち映画・テ レビ(件)	42	40	25	18	22	20	15
11 啄木学級文の京講 座参加者数(人)	333	350	中中	76	106	270	213
12 啄木学級故郷講座 参加者数(人)	31	35	21	中止	中止	20	25
13 姫神山やま開き参加者数(人)	1, 200	1, 200	8	13	130	250	400
14 いわて・盛岡広域 観光センター対応 者数(人)	37, 645	45, 000	12, 891	15, 130	30, 655	84, 058	67, 628

(3)コンベンション振興に関する事業【公益目的事業2】

	ロノーン・ファコンが							
	指標	参考値 (R1)	目標値 (R6)	R2	R3	R4	R5	R6
1	MICE誘致相談 件数(件)	73	90	7	7	28	58	91
2	コンベンション支 援件数(件)	89	120	13	15	55	65	77
3	コンベンション参 加者(人)	52, 092	75, 000	1, 730	5, 459	30, 978	26, 407	46, 627
4	情報収集活動回数 (回)	4	6	1	1	1	4	6
5	MICE助成金交付件数(件)	22	32	2	2	15	15	20
6	MICE助成金対 象参加者数(人)	14, 799	21, 000	443	550	7, 562	5, 897	13, 343
7	MICE助成金交 付金額(千円)	14, 050	26, 000	40	50	960	640	13, 400

(4)自主企画事業の展開などによる観光・文化の振興事業【公益目的事業3】

	指標	参考値 (R1)	目標値 (R6)	R2	R3	R4	R5	R6
1	観光文化交流セン ター自主事業入場 者数(人)	901	900	998	156	216	405	476
2	啄木・賢治青春館 自主事業入場者数 (人)	20, 172	20, 000	7, 650	9, 201	16, 790	22, 480	_
3	もりおか歴史文化 館入館者数(人)	216, 999	220, 000	64, 949	69, 703	147, 913	230, 863	236, 328

[※]もりおか啄木・賢治青春館の指定管理運営は令和5年度にて終了のためR6は未記載。

(5)施設の管理運営事業【収益事業1】

指標	参考値 (R1)	目標値 (R6)	R2	R3	R4	R5	R6
1 観光文化交流セン ター入館者数(人)	104, 838	110, 000	39, 339	42, 712	67, 930	92, 956	104, 061
2 啄木・賢治青春館 入館者数(人)	40, 112	42, 000	26, 584	35, 446	54, 903	74, 486	_

[※]もりおか啄木・賢治青春館の指定管理運営は令和5年度にて終了のためR6は未記載。

(6)収益に関する事業 【収益事業2】

(-) P P P P	· · · · · · · · ·	- · ·					
指標	参考値 (R1)	目標値 (R6)	R2	R3	R4	R5	R6
1 観光文化情報プラ ザ利用者数(人)	36, 327	37, 000	3, 136	15, 729	19, 267	22, 962	31, 249
2 接遇研修参加者数 (人)	155	160	54	110	77	118	70
3 推せんの店加盟店 舗数(件)	115	150	111	108	109	107	98

4 現状と課題

コロナ禍を経て新たな時代へと動き始めた社会におきまして、観光関連産業も例外ではなく大きな変革を迫られている中、当協会といたしましても身の丈に合った業務生産性のさらなる向上やあらゆるシステムのデジタル化が課題となっています。

デジタルツールの進化は観光客の動向にも影響を与えており、これからは情報の発信量に加えて、より高度で付加価値に優れたサービスの提供と情報ツールの効果的な運用が必至となることから、対応を強化するための策が急がれます。

観光分野では、各地において従来の周遊型観光とは異なる滞在型観光や通年型観光への取り組みが行われている傾向にあります。盛岡においても、時節の祭りやイベントを活用した誘客と組み合わせたまち歩きガイドや伝統芸能の体験メニューなど既存事業の更新のほか地域の隠れた魅力の磨き上げを図り、持続可能な観光を視野に国内観光及び国際観光を推進することが必要です。

MICE分野では、コロナ禍において一時的に増加したオンラインやハイブリット開催も現在は現地を会場とした対面開催が回復傾向にあるため、MICE施設が中心市街地に集積しているなどの利便性の強みを生かした更なる誘致が求められています。いかにして地域の魅力を向上させ巧みな誘客素材に仕上げていくか、緻密な戦略が他地域との競争の分かれ目となることは観光分野と同様です。国内観光とインバウンド需要の回復を起爆剤に、盛岡への誘客素材の整備とMICE助成金制度等を活用した上で、各種商談会への参加や各方面への積極的且つきめ細やかな情報発信を継続していくことが必要です。

組織の運営にあたりましては、上記の課題を念頭に置きつつ万全な体制で臨むことが求められます。盛岡市の指定管理者として観光文化施設等2館を担っていることにより、地域観光の拠点運営と事業展開とを連動させることが可能となり、人材と財源を活用することで充実が図られます。加えて、賛助会員と連携した観光客受入事業の展開や財源の確保のため、会員数拡大を図ることが必要です。また、職員体制におきましては、国の制度改革等に対応した待遇改善に適正に取り組むことや事務事業の効率化が課題となる中、人材育成への強化も必要となります。

5 計画運営方針

公益法人として認定を受けた個別の事業について、計画目標を定め毎年度実施するとともに、 各事業年度終了後に自己評価を行い、計画最終年度を終えたのちに達成状況とその効果を検証の 上、総括評価を行うこととします。

また、定款に掲げる目的のもと、各種事業を効果的に展開するための柱となる推進施策を抽出した上で、計画執行期間内において適宜点検等を行い、必要に応じて見直しを図ることとします。

(1)目的

盛岡市及び岩手県の有する文化・社会的・経済的特性を活かし、国内外からのコンベンション 及び観光客に対する誘致並びに支援、観光資源の開発宣伝、観光文化施設の整備及び管理を行う ことにより、観光の振興及び交流人口の拡大を図り、もって地域の経済活性化及び文化の向上に 寄与することを目的とする。(公益財団法人盛岡観光コンベンション協会定款第3条より)

(2) 推進施策 (A~D)

【A】情報発信の強化と受入体制整備

- ・当協会が所管する案内施設(いわて・盛岡広域観光センター/観光文化情報 プラザ/もりおか歴史文化館・町なか情報センター)のサービス強化と充実 を図り、訪れる観光客等への的確な情報提供と支援を行います。
- ・当協会のホームページや SNS 等の活用、キャンペーン事業参加時に機をとらえた旬の情報発信することを通じて観光客への便宜を図るとともに、観光情報の充実とサービスに努めます。

【B】持続可能な観光基盤の整備

- ・盛岡ふるさとガイドの育成と活動を通じて、街の魅力を知り尽くした盛岡市 民が直接観光客等と交流する中で、盛岡ファンの獲得とリピーターの増加に 繋げます。
- ・伝統文化の継承への理解を高めつつ、各種団体と連携して盛岡の祭りや郷土 芸能等に街なかで触れて頂く機会を創出し、観光素材としての魅力を向上さ せます。
- ・教育旅行誘致を強化し、来訪実績のある地域等への訪問活動を継続するとと もに、時機を捉えた体験メニュー等の充実に努め、リピート率が期待できる 若年層の観光誘客を目指します。

【C】MICE誘致の促進

- ・国内最大規模のMICE商談会である「国際MICEエキスポ (IME)」 への出展等により情報収集と誘致活動を行うほか、各種誘致商談会への参加 を通じてコンベンション好適地としての盛岡の魅力を紹介し知名度の向上を 図ります。
- ・各種連絡会での情報交換や首都圏等のコンベンション関連機関等への訪問により、主催者の需要に応えうる体制の整備を目指すとともに、「盛岡MIC E助成金制度」等による支援内容を紹介し、誘致促進を図ります。

【D】運営体制の充実

- ・安定した財政基盤の構築を目指し、賛助会員の加入促進と収入源となる事業の 検討を行います。
- ・各種研修への参加により職員の資質向上を図るとともに、接遇研修会等を賛助会員等に向けて実施し、観光産業に携わる人材の育成とおもてなしの心の向上を図ります。
- ・国の進めるデジタル改革に呼応して、各種デジタルシステムへの対応を進め ながら事務の効率化を図ります。

事業一覧

公1 観光振興に関する事業

※令和6年度実績値=2月末時点の速報・確定値

五1 観儿扱典に関する		十及夫頼 一2月木时点の本刊・唯化				
事業名 	実施目的	指標及び目標値				
1. 広報宣伝事業	旬の話題や祭りイベント情報等をホームページ及びデジタル媒体、紙媒体等を活用して提供し、盛岡への誘客促進とイメージアップを図る。	指標① 協会 HP アクセス数(回) 指標② SNS 等発信回数(回) 指標 R6 実績値 R11 目標値 ① 148, 491 220,000 ② 255 280				
2. 観光案內事業	観光案内施設での情報提供をはじめ、市民ボランティアガイドの案内活動を通じた観光客等との交流の中で、より親近感の持てるサービスを提供し、盛岡の「人と地域」の魅力を印象付ける。	指標① ふるさとガイド案内客数(人) 指標② ふるさとガイド派遣人数(人) 指標 R6 実績値 R11 目標値 ① 1,569 2,500 ② 250 280				
3. 観光客誘致促進事業	誘客活動や観光キャンペーンへの参加を通じて、盛岡及び盛岡広域圏へ 国内外の観光客や修学旅行生などの 誘致を図る。	指標① 誘客活動等参加回数(回)				
4. まつり行事振興事業	盛岡八幡宮例大祭での山車運行及び 盛岡さんさ踊り振興協議会事務局の 運営をはじめ、各種祭りイベント及 び伝統行事を支援育成し、県内外に 広くPRすることにより観光振興を 図る。	指標① 祭り行事等助成件数(件) 指標② 祭り団体等派遣協力件数(回) 指標 R6 実績値 R11 目標値 ① 15 20 ② 236 250				
5. ブランド振興事業	ロケ支援を伴うテレビや映画等の放 映を通じて盛岡広域のイメージ効果 を高め、地元ブランドとしての価値 を付加することで誘客を図り観光振 興につなげる。	指標① ロケ支援等相談件数(件) 指標② ロケ支援等放映・掲載件数(件) 指標 R6 実績値 R11 目標値 ① 34 60 ② 16 30				
6. 観光資源活用事業	観光・教育旅行関係者等からの意見 聴取や自治体との意見交換会参加等 により旅行客のニーズを把握し、検 証、改善を行うことで事業の充実を 図る。	指標① 意見交換・情報収集回数(回)				
7. 玉山地域観光振興事業	石川啄木の生誕の地である玉山地域 の文化資源および自然環境を活用 し、啄木顕彰とその文化的土壌への 興味を促すことで観光地としての魅 力向上を図る。	指標① 啄木学級参加者数(人) 指標② 姫神山やま開き参加者数(人) 指標 R6 実績値 R11 目標値 ① 364 450 ② 400 500				

8. 観光客受入体制整備事業	盛岡駅構内の「いわて・盛岡広域観 光センター」の運営を通じて、盛岡 駅を利用する国内外の観光客や学会 関係者に、県内及び盛岡広域圏の観 光スポットや交通・宿泊に関する情 報等を提供し、受入体制の充実を図 る。	指標① 観光センター対応者数(人) 指標 R6 実績値 R11 目標値 ① 40,976 45,000
9. おもてなし推進事業	沿岸被災地の観光情報収集・発信による復興支援及び盛岡を訪問する旅行者等へのおもてなし向上の推進により盛岡を基軸とした沿岸地域への誘客促進による観光振興を図る。	指標① 復興支援及び啓発活動等協力件 数(件) 指標 R6 実績値 R11 目標値 ① 3 5

公2 コンベンション振興に関する事業

公2 コンベンション振興	単に関する事業 ニュー	
事業名	実施目的	指標及び目標値
10. コンベンション誘致支援事業	国内外の大会・学会を盛岡及び岩手県 内に誘致し、成功に導くことにより地 域経済の活性化に貢献する。	指標① コンハ ンジョン誘致商談件数(件) 指標② コンハ ンジョン支援件数(件) 指標③ コンハ ンジョン参加者数(人) 指標 R6 実績値 R11 目標値 ① 91 105 ② 77 100 ③ 46,627 90,000
11. 企画開発情報収集事業	各種会議及び研修会等において誘致支援に必要な情報収集を行うとともに、アンケート調査等による地元主催者のコンベンション開催状況等をデータベース化して新たな誘致活動に活用するほか、地域の特色を活かした企画提案に結びつける。	指標① 情報収集活動回数(回)
12. 盛岡 MICE 助成金交付事業	交付事業を通じて主催者の開催負担を 助成し、盛岡市へのMICE誘致を促進させるとともに、交流人口の拡大と広域 観光の振興を図る。	指標① 助成金交付件数(件) 指標② 助成金対象参加者数(人) 指標③ 助成金交付金額(千円) 指標 R6 実績値 R11 目標値 ① 20 29 ② 13,343 20,000 ③ 13,400 22,000

公3 自主企画事業の展開などによる文化の振興事業

事業名	実施目的	指標及び目標	票値
13. 観光文化振興事業	盛岡市観光文化交流センター(指定管理施設)での自主企画事業の展開及びもりおか歴史文化館「町なか情報センター」機能等により、地域文化の向上と活性化を図る。	主事業入場者 りおか歴史文 R6 実績値 476 236,328	

収1 施設の管理運営事業

事業名	実施目的	指標及び目標値
14. 施設の管理運営事業	盛岡市観光文化交流センターの運営において、観光案内や施設内サービスを充実させ、利用者の満足度と地域の拠点としての存在価値を高める。	指標① センター貸館施設利用者数(人) 指標 R6 実績値 R11 目標値 ① 72,812 80,000

収2 収益に関する事業

事業名	実施目的		票値	
15. 収益に関する事業	観光の振興及び交流人口の拡大を図り、もって地域の経済活性化と文化の向上に寄与するという目的を達成するため、収益事業による利益の一部を公益事業で使用するものである。	指標② 接	光文化情報プラ 選研修参加者数 せんの店加盟数 R6 実績値 31, 249 70 98	数(人)

法人運営

事業名	実施目的	指標及び目標値		
16. 事業運営	公益事業の推進と安定した法人運営のため		助会員登録数(/ステムのデジ/ R6 実績値 300 9/30	